

### 祝 春の叙勲受章



旭日双光章  
【児童福祉】  
小口 晋さん  
(沢)

40年以上にわたり里親活動に取り組み、県里親連合会会長などを歴任し、厚生労働省大臣表彰(児童福祉事業功労)などを受賞されました。



瑞宝単光章  
【消防】  
白石 光夫さん  
(木幡)

1971年に塩谷郡市消防組合に入り、2008年に塩谷広域行政組合消防司令で退職されました。



瑞宝単光章  
【消防】  
長谷川 清さん  
(片岡)

1972年に塩谷郡市消防組合に入り、2008年に塩谷広域行政組合消防司令で退職されました。



瑞宝単光章  
【警察】  
田沢 修さん  
(塩田)

1969年に警視庁に入り、主に交通畑を歩み、2004年に第5方面交通機動隊警部で退職されました。



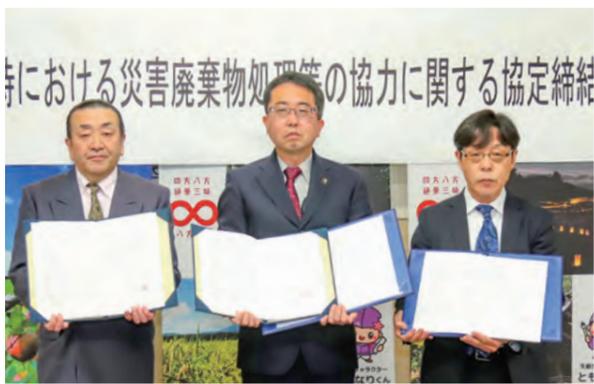
藍綬褒章  
【消防】  
斎藤 勝利さん  
(幸岡)

1990年に市消防団に入団し、2020年から消防団副団長を務め、2021年には消防庁長官表彰の永年勤続功労賞を受賞されました。

### 4/15 (金) 迅速な災害廃棄物処理へ

市役所で、市と(株)クリーン矢板ならびに、(有)塩谷環境整美との間で「災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定」が締結されました。本協定は、災害発生時に災害廃棄物の撤去、収集や運搬、処理や処分について協力を要請するために締結したもので、これにより早急な災害復旧や生活再建への後押しにつながります。

協定書への署名を終えた両社の代表からは「災害発生時には、市民が1日も早い日常生活を取り戻せるよう、市と連携し、迅速な処理を進めたい」と話がありました。



▲(左から) (有)塩谷環境整美 松本次長、齋藤市長、(株)クリーン矢板 大島代表取締役

### 4/15 (金) 国体選手へエールを込めて

市役所で、いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会への協賛にかかる感謝状贈呈式が行われ、東色ピグメント(株)様からスキンケア商品として、フェイスマスク760枚が寄附されました。これは、10月に開催される「いちご一会とちぎ国体」で、市がメイン会場となる「サッカー少年女子」に出場する16歳以下の女子選手へ送られます。

市長は、「このフェイスマスクを通じて、【人々に美しさを与え続ける】という貴社の思いが若い世代に伝わる良い機会となる」と話しました。



▲(左から) 横塚副市長、齋藤市長、東色ピグメント(株) 鳴原代表取締役社長、高橋常務取締役、石塚生産三部部長

### 4/15 (金) 平和へのライトアップ

長峰公園のシンボルタワーで、ロシアによるウクライナ侵攻の犠牲者への哀悼と平和を願い、ウクライナ国旗をイメージした青と黄色のライトアップが開始されました。齋藤市長は、「市民が一丸となってウクライナに再び平和が訪れることを願うシンボルにしたい」と話しました。

市ではこのほか、募金箱の設置や翻訳機の整備、ウクライナから本市へ避難を希望する方に備え、市営住宅の提供や相談窓口の設置、国や県からの通訳者の派遣などの準備を進めています。



【ライトアップ時間】18:00~21:00



▲ウクライナ語にも対応している翻訳機



▲募金箱(市民課・社会福祉課・生涯学習課・道の駅に設置)

### 4/17 (日) プロによる熱血指導

矢板運動公園野球場で、栃木ゴールデンブレーブスによる野球教室が行われました。この教室は、BCリーグ公式戦終了後に「いちご一会とちぎ国体開催記念イベント」として行われたもので、参加した市野球連盟加盟チーム所属の小学生43人は、寺内監督や選手から打撃や守備のコツなどを教わりました。

参加した子どもたちは「プロの選手が分かりやすく教えてくれたのでうれしかった。10月に開催される国体での軟式野球の試合を見に行きたい」と話していました。



### 4/25 (月) 祝 W 準優勝! シニア野球

「令和4年度栃木県春季選暦軟式野球大会」ならびに「第1回栃木県春季古希軟式野球大会」に出場し、共に準優勝の成績を残した、やいたシニアチーム所属の監督や選手などが市長を表敬訪問しました。野球愛好者38人で創部15年目になるチームは、選手としての出場資格が軟式の部は60歳以上、古希の部は70歳以上と定められた当大会に向け、日々練習を積み重ねてきました。

83歳でチーム最年長の仲島さんは「今季の目標は悲願の優勝。体力が続く限り現役を続けたい」と話していました。



▲(左から) 横塚副市長、やいたシニアチーム 本木監督、村上代表、齋藤市長、平井副キャプテン、仲島さん、村上教育長

### 5/12 (木) 市民の健康づくりソング

市役所で、作詞を森 順一さん、作曲を故 渡辺 豊彦さんが手がけた歌謡曲「あゝ川崎城址」に合わせた健康体操DVDがお披露目されました。これは、矢板ふるさと支援センター TAKIBI の地域おこし協力隊員・集落支援員が、健康づくりをしながら曲に親しんでもらおうと企画したもので、体操の振り付けは、健康運動指導士の塚田 翠さんが監修しました。

当日参加した関係者は、「高齢者でも行える体操にしました。市の魅力をPRする内容も含まれているので、改めて地元で親しみを持つきっかけになれば」と話していました。



▲(左から) 矢板ふるさと支援センター TAKIBI 集落支援員 杉山さん・久山さん、横塚副市長、齋藤市長、森さん、渡辺 真由美さん(故 豊彦さんの妻)、塚田さん ※市民の皆さんに利用していただけるよう、各行政区に配布されています。